

# やまなしの国保

# 秋号

発行所 山梨県国民健康保険団体連合会

山梨県甲府市蓬沢 1-15-35(山梨県自治会館 4 階)

TEL:055-223-2111

<https://www.ymnkokuho.or.jp/>

## 目次

### ●【トピックス】

- ・第 102 回山梨県国民健康保険団体連合会通常総会
- ・国保総合システムの更改等に係る国庫補助の要望活動を実施

### ●健康長寿推進課通信

- ・令和 6 年度高齢者福祉基礎調査の概要

### ●連合会ニュース



令和6年7月31日(水)に県自治会館1階講堂にて第102回国保連合会通常総会を開催した。  
29会員の出席(委任状を含む)のもと、令和5年度事業報告並びに各会計決算等が審議された。

開会にあたり、塩澤浩理事長(昭和町長)は「日頃より、国保連合会の事業運営に、多大なご尽力を賜り、業務が概ね順調に執行されていることについて、厚くお礼申し上げます。」と述べた。

また、「医療保険制度は、国民皆保険のもと、誰もが安心して医療を受けられる医療体制を実現し、世界最高レベルの平均寿命と保健医療水準を達成して来たが、少子高齢化や医療費の増加等により、国保財政は大変厳しい状況が続いている。こうした状況を踏まえ、国では「審査支払機能に関する改革工程表」を策定し、国保中央会及び

社会保険診療報酬支払基金が連携して、システムの共同開発・共同利用などの取組が進められている。特に、国保総合システムはクラウド化が推進され、トラブルなく順調に運用されている。一方で、今回のクラウド化はシステムを最適化するまでは至らず、保守運用費の縮減が図れていないことから、早急に最適化を図るため、必要な費用負担を国に求めるべく、国保中央会等と連携し、引き続き要望活動を行っていく。」と挨拶した。

この日審議されたのは、報告事項1件、議決事項28件となり、提出した案件全てが原案どおり承認、可決された。

## 報告事項

報告第1号… 令和6年度山梨県国民健康保険団体連合会一般会計歳入歳出予算補正(第1号)について

## 協議事項

議第1号… 令和5年度山梨県国民健康保険団体連合会事業報告の認定について

議第2号… 令和5年度山梨県国民健康保険団体連合会一般会計歳入歳出決算認定について

議第3号… 令和5年度山梨県国民健康保険団体連合会診療報酬審査支払特別会計(業務勘定)歳入歳出決算認定について

議第4号… 令和5年度山梨県国民健康保険団体連合会後期高齢者医療事業関係業務特別会計(業務勘定)歳入歳出決算認定について

議第5号… 令和5年度山梨県国民健康保険団体連合会介護保険事業関係業務特別会計(業務勘定)歳入歳出決算認定について

議第6号… 令和5年度山梨県国民健康保険団体連合会障害者総合支援法関係業務等特別会計(業務勘定)歳入歳出決算認定について

議第7号… 令和5年度山梨県国民健康保険団体連合会特定健診等業務特別会計歳入歳出決算認定について

議第8号… 令和5年度山梨県国民健康保険団体連合会国民健康保険診療報酬審査支払特別会計(支払勘定)歳入歳出決算認定について

議第9号… 令和5年度山梨県国民健康保険団体連合会公費負担医療に関する診療報酬審査支払特別会計(支払勘定)歳入歳出決算認定について

議第10号… 令和5年度山梨県国民健康保険団体連合会後期高齢者医療事業関係業務特別会計(支払勘定)歳入歳出決算認定について

議第11号… 令和5年度山梨県国民健康保険団体連合会診療報酬審査支払特別会計(出産育児一時金等に関する支払勘定)歳入歳出決算認定について

- 議第 12 号… 令和5年度山梨県国民健康保険団体連  
 合会介護保険事業関係業務特別会計(介  
 護給付費等支払勘定)歳入歳出決算認定  
 について
- 議第 13 号… 令和5年度山梨県国民健康保険団体連  
 合会介護保険事業関係業務特別会計(公  
 費負担医療等に関する報酬等支払勘定)  
 歳入歳出決算認定について
- 議第 14 号… 令和5年度山梨県国民健康保険団体連  
 合会障害者総合支援法関係業務等特別  
 会計(支払勘定)歳入歳出決算認定につい  
 て
- 議第 15 号… 令和5年度山梨県国民健康保険団体連  
 合会重度心身障害者医療費集計業務特  
 別会計歳入歳出決算認定について
- 議第 16 号… 令和5年度山梨県国民健康保険団体連  
 合会診療報酬審査支払特別会計(抗体検  
 査等費用に関する支払勘定)歳入歳出決  
 算認定について
- 議第 17 号… 令和5年度山梨県国民健康保険団体連  
 合会支払資金貸付特別会計歳入歳出決  
 算認定について
- 議第 18 号… 令和5年度山梨県国民健康保険団体連  
 合会職員退職手当特別会計歳入歳出決  
 算認定について
- 議第 19 号… 令和6年度山梨県国民健康保険団体連  
 合会一般会計歳入歳出予算補正(第2  
 号)について
- 議第 20 号… 令和6年度山梨県国民健康保険団体連  
 合会診療報酬審査支払特別会計(業務勘  
 定)歳入歳出予算補正(第1号)について

- 議第 21 号… 令和6年度山梨県国民健康保険団体連  
 合会後期高齢者医療事業関係業務特別  
 会計(業務勘定)歳入歳出予算補正(第1  
 号)について
- 議第 22 号… 令和6年度山梨県国民健康保険団体連  
 合会介護保険事業関係業務特別会計(業  
 務勘定)歳入歳出予算補正(第1号)につ  
 いて
- 議第 23 号… 令和6年度山梨県国民健康保険団体連  
 合会障害者総合支援法関係業務等特別  
 会計(業務勘定)歳入歳出予算補正(第1  
 号)について
- 議第 24 号… 令和6年度山梨県国民健康保険団体連  
 合会特定健診等業務特別会計歳入歳出  
 予算補正(第1号)について
- 議第 25 号… 令和6年度山梨県国民健康保険団体連  
 合会公費負担医療に関する診療報酬審査  
 支払特別会計(支払勘定)歳入歳出予算  
 補正(第1号)について
- 議第 26 号… 令和6年度山梨県国民健康保険団体連  
 合会重度心身障害者医療費集計業務特  
 別会計歳入歳出予算補正(第1号)につい  
 て
- 議第 27 号… 令和6年度山梨県国民健康保険団体連  
 合会支払資金貸付特別会計歳入歳出予  
 算補正(第1号)について
- 議第 28 号… 令和6年度山梨県国民健康保険団体連  
 合会職員退職手当特別会計歳入歳出予  
 算補正(第1号)について

## 公 告

令和6年7月31日開催の第102回通常総会にお  
 いて、令和5年度山梨県国民健康保険団体連合会事  
 業報告書及び各会計決算認定等について議決を得た  
 ので、国民健康保険法施行令第24条に基づき次のと  
 り公告する。

令和5年度の事業は、第99回通常総会において議決  
 された事業計画に基づき、保険者及び関係機関との連  
 携を密にして実施した。

### <以下事業の主なものを抜粋>

#### ●第100回通常総会

令和5年7月28日 甲府市 於 ベルクラシック甲府

#### ●第101回通常総会

令和6年2月28日 甲府市 於 ベルクラシック甲府

#### ●役員(理事・監事)会

令和5年7月13日 甲府市 於 県自治会館

令和5年12月25日 甲府市 於 県自治会館

令和6年2月14日 甲府市 於 県自治会館

#### ●監事会

令和5年7月5日 甲府市 於 県自治会館

#### ●山梨県国民健康保険団体連合会手数料等協議会

令和5年9月19日 甲府市 於 県自治会館

令和5年10月11日 甲府市 於 県自治会館

#### ●国保制度改善強化全国大会

令和5年11月13日 東京都 於 砂防会館

#### ●高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施に 関する研修会

令和5年7月13日 甲府市 於

甲府市南公民館大ホール

#### ●電算処理業務研修会

令和5年6月27日 (オンライン開催)

令和5年10月25日 (オンライン開催)

#### ●第三者行為損害賠償求償事務担当職員研修会

令和5年6月7日 (オンライン開催)

令和5年11月24日 於 県自治会館

#### ●介護サービス苦情処理担当者実務研修会

令和5年9月27日 (オンライン開催)

令和5年度山梨県国民健康保険団体連合会会計別決算総括表

(単位:円)

会計名	予算現額	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引残額
一般会計	192,417,000	173,852,008	152,678,145	21,173,863
診療報酬審査支払特別会計(業務勘定)	881,581,000	810,440,754	781,295,219	29,145,535
後期高齢者医療事業関係業務特別会計(業務勘定)	621,566,000	622,840,739	590,902,386	31,938,353
介護保険事業関係業務特別会計(業務勘定)	172,168,000	165,241,716	152,345,012	12,896,704
障害者総合支援法関係業務等特別会計(業務勘定)	74,676,000	74,411,257	56,391,682	18,019,575
特定健診等業務特別会計	879,915,000	701,126,393	690,922,423	10,203,970
国民健康保険診療報酬審査支払特別会計(支払勘定)	59,296,814,000	57,297,622,915	57,297,622,915	0
公費負担医療に関する診療報酬審査支払特別会計(支払勘定)	2,395,401,000	1,738,249,657	1,738,242,048	7,609
後期高齢者医療事業関係業務特別会計(支払勘定)	114,650,093,000	108,854,057,537	108,854,057,247	290
診療報酬審査支払特別会計(出産育児一時金等に関する支払勘定)	324,008,000	211,968,943	211,968,943	0
介護保険事業関係業務特別会計(介護給付費等支払勘定)	77,853,863,000	73,547,484,178	73,547,484,178	0
介護保険事業関係業務特別会計(公費負担医療等に関する報酬等支払勘定)	401,793,000	362,332,940	362,332,940	0
障害者総合支援法関係業務等特別会計(支払勘定)	25,648,174,000	24,174,654,288	24,174,654,288	0
重度心身障害者医療費集計業務特別会計	182,307,000	179,854,546	173,898,323	5,956,223
診療報酬審査支払特別会計(抗体検査等費用に関する支払勘定)	338,347,000	102,186,344	102,186,344	0
支払資金貸付特別会計	36,829,000	22,793,155	17,522,000	5,271,155
職員退職手当特別会計	40,552,000	30,694,184	30,681,955	12,229
<b>合計</b>	<b>283,990,504,000</b>	<b>269,069,811,554</b>	<b>268,935,186,048</b>	<b>134,625,506</b>

山梨県国民健康保険団体連合会財産目録

令和6年3月31日現在(単位:円)

区分	積立金等名称	会計	前年度末現在高	本年度増減高	現在高	
積立資産等	事業運営安定化積立金		439,744,000	0	439,744,000	
		国保	55,116,042	0	55,116,042	
		後期	20,096,942	0	20,096,942	
		介護	26,806,777	0	26,806,777	
		特定	45,686,204	0	45,686,204	
		退職	292,038,035	0	292,038,035	
	財政調整基金積立資産			80,099,000	2,311,000	82,410,000
		国保		28,080,000	△ 634,000	27,446,000
		後期		31,449,000	1,430,000	32,879,000
		介護		11,295,000	40,000	11,335,000
		障害		3,700,000	59,000	3,759,000
		特定		1,415,000	152,000	1,567,000
	減価償却引当資産			540,212,000	△ 131,685,000	408,527,000
		国保		378,441,000	△ 149,347,000	229,094,000
		後期		98,631,000	12,390,000	111,021,000
		介護		29,074,000	5,288,000	34,362,000
		障害		138,000	463,000	601,000
		特定		21,707,000	6,101,000	27,808,000
	電算処理システム導入 作業経費積立資産			156,846,000	△ 10,955,000	145,891,000
		国保		97,143,000	△ 13,731,000	83,412,000
		後期		19,952,000	5,761,000	25,713,000
		介護		15,862,000	273,000	16,135,000
		障害		5,508,000	0	5,508,000
		特定		12,603,000	63,000	12,666,000
	ICT等を活用した審査支 払業務等の高度化に係 る積立資産			75,512,000	79,417,000	154,929,000
		国保		32,168,000	39,814,000	71,982,000
		後期		21,221,000	40,149,000	61,370,000
介護			6,778,000	△ 1,179,000	5,599,000	
障害			11,100,000	177,000	11,277,000	
特定			4,245,000	456,000	4,701,000	
退職給付引当資産	退職		53,277,271	12,303,704	65,580,975	
合 計			1,345,690,271	△ 48,608,296	1,297,081,975	

# 2024.8.7 国保総合システムの更改等に係る 国庫補助の要望活動を実施



神谷まろみ事務局長

塩澤浩理事長  
(昭和町長)

衆議院議員自由民主党  
堀内詔子氏

小島徹常務理事

## 要望事項

国保総合システムの開発や運用に当たっては、保険者や被保険者に追加的な財政負担が生じないよう、国の責任において必要な財政措置を講じること。

## 《要望書全文》

国保中央会・国保連合会が開発運用している「国保総合システム」は、国保制度等の基盤を支える極めて公共性の高い、医療 DX 推進の柱となる重要なインフラであるが、令和 6 年 3 月に機器の保守期限が到来することとなっていたため、「審査支払機能に関する改革工程表」に沿って、第一段階の対応として、クラウドへの移行や支払基金システムと受付領域を共同利用するためのシステム開発に取り組み、令和 6 年度より稼働を開始している。さらに、第二段階の対応として、支払基金と審査領域を共同利用するためのシステム開発に向けた検討を進めている。

しかしながら、第一段階のシステム開発においては、開発期間が限られる中でシステム障害等のリスクを避けるために段階的に進めていくこととしたことから、クラウドサービスを十分活用するなどシステムを最適化するまでには至らなかった。このため、支払基金システムにはない国保保険者事務の共同処理を行う保険者サービス系機能を含めて、早急にシステムを最適化し保守・運用費の縮減を図ることが不可避となっている。

また、第二段階の支払基金との審査領域の共同開発・共同利用においても、国保等の保険者の保守・運用費の縮減が求められており、その実現のためにはシステムの一層の最適化に取り組む必要がある。

国保総合システムのこれらの開発に係る費用や保守・運用費を賄うための財源については、国保連合会が保有する積立資産だけでは不足しており、保険者等から徴収する審査支払手数料等を引き上げて対応せざるを得ないこととなるが、国保保険者及び後期高齢者医療広域連合は財政基盤が脆弱な上、物価高騰等の影響により厳しい経済状況が続いており、この費用を保険料(税)の引き上げで負担することは極めて困難である。

よって、この内容を実現させるために必要な費用について、保険者や被保険者に追加的な負担が生じないよう、国の責任において必要な財政措置を講じるよう強く要望する。

上記のことから、去る 8 月 7 日、塩澤浩理事長(昭和町長)ほか本会の役員等は県関係国会議員(与党)に対して要望活動を実施した。

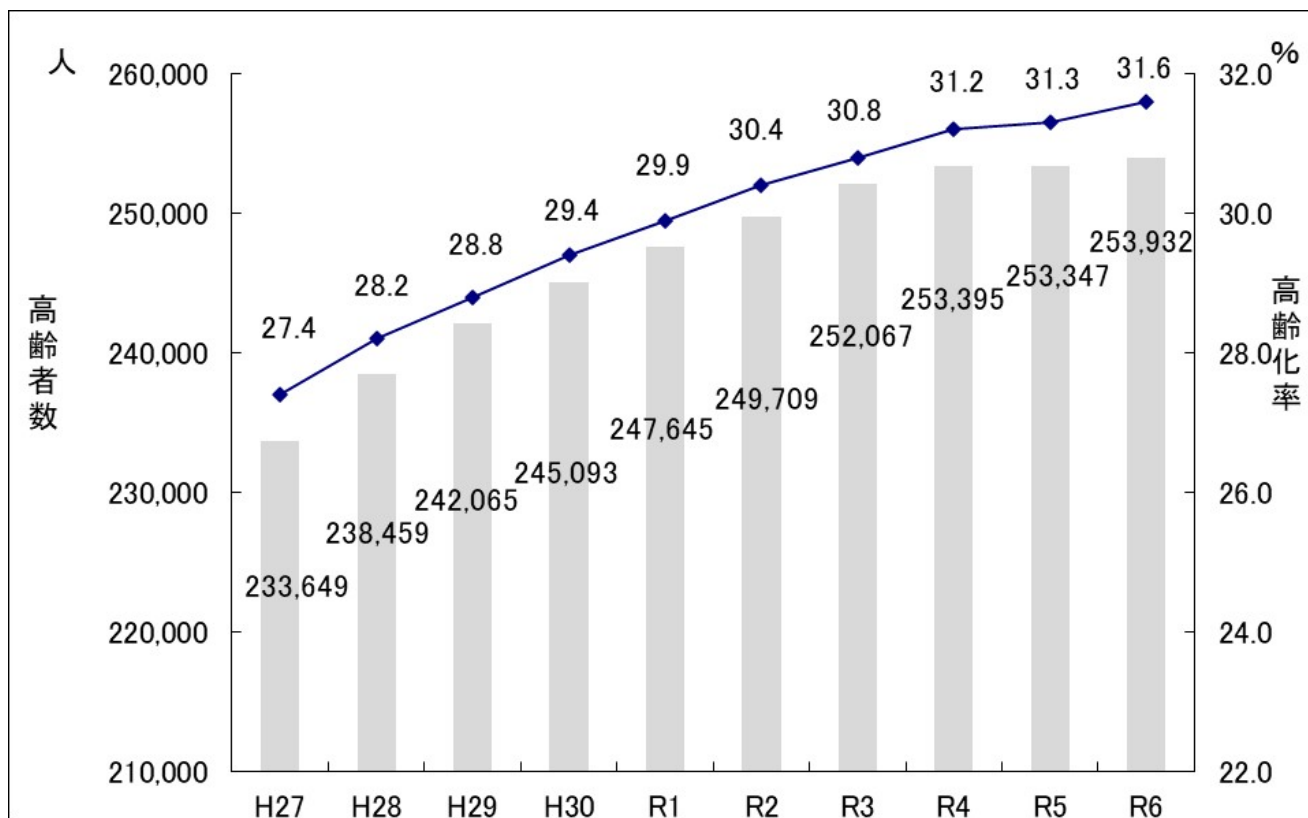
## 令和6年度高齢者福祉基礎調査の概要

山梨県では、高齢者福祉施策を推進するための基礎資料を得ることを目的として、高齢者の人口、在宅ひとり暮らし高齢者数、在宅寝たきり高齢者数等を把握する「高齢者福祉基礎調査」を毎年実施しております。このたび本年度の調査結果がまとまりましたので、その概要についてお知らせします。

## 1 高齢者人口、高齢化率の状況

今回の調査の結果、令和6年4月1日現在、65歳以上の高齢者は253,932人(前年比585人増)、高齢者人口の総人口に対する割合である高齢化率は31.6%(前年比0.3ポイント増)となっており、高齢者数、高齢化率とも前年度と比べ増加、上昇していることが明らかになりました。(図1)

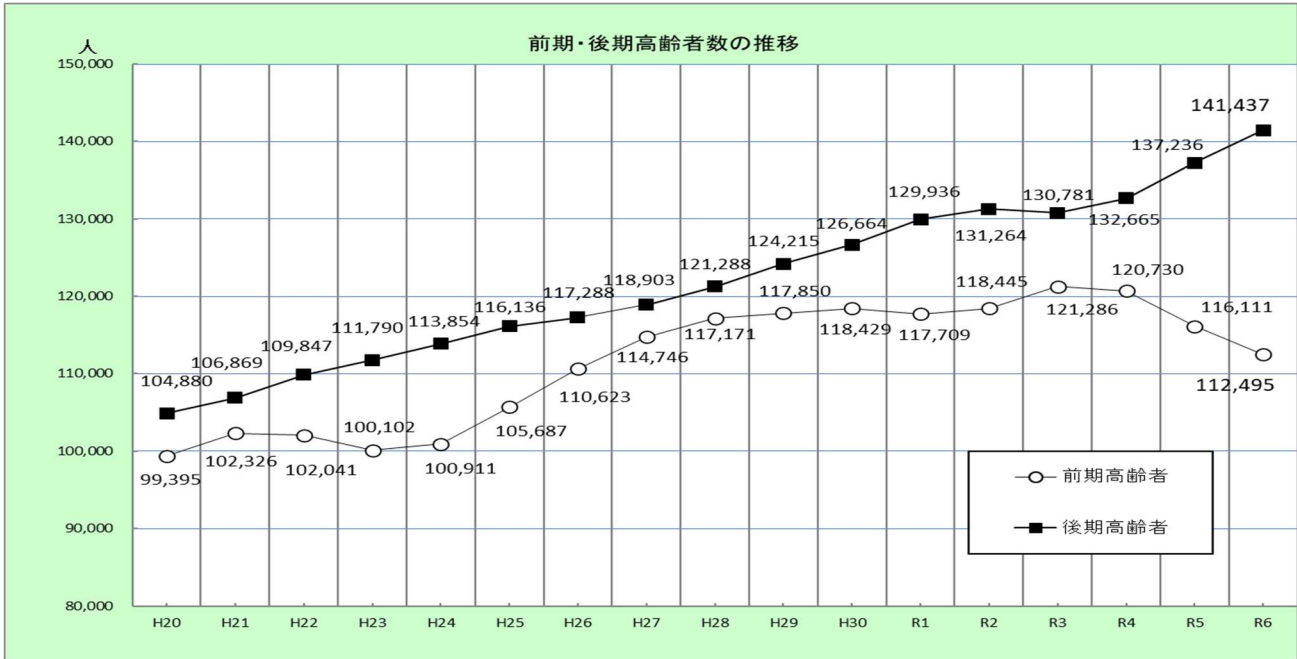
図1【高齢者数と高齢化率の推移】



全国の高齢化率29.2%(総務省「人口推計」(概算値)令和6年4月1日現在)と比べると2.4ポイント高く、本県は全国より高齢化が進んでいることになります。

また、平成18年以降、75歳以上の後期高齢者数が65歳以上75歳未満の前期高齢者数を上回っており、令和6年はその差が28,942人となっています。(図2)

図2【前期・後期高齢者数の推移】

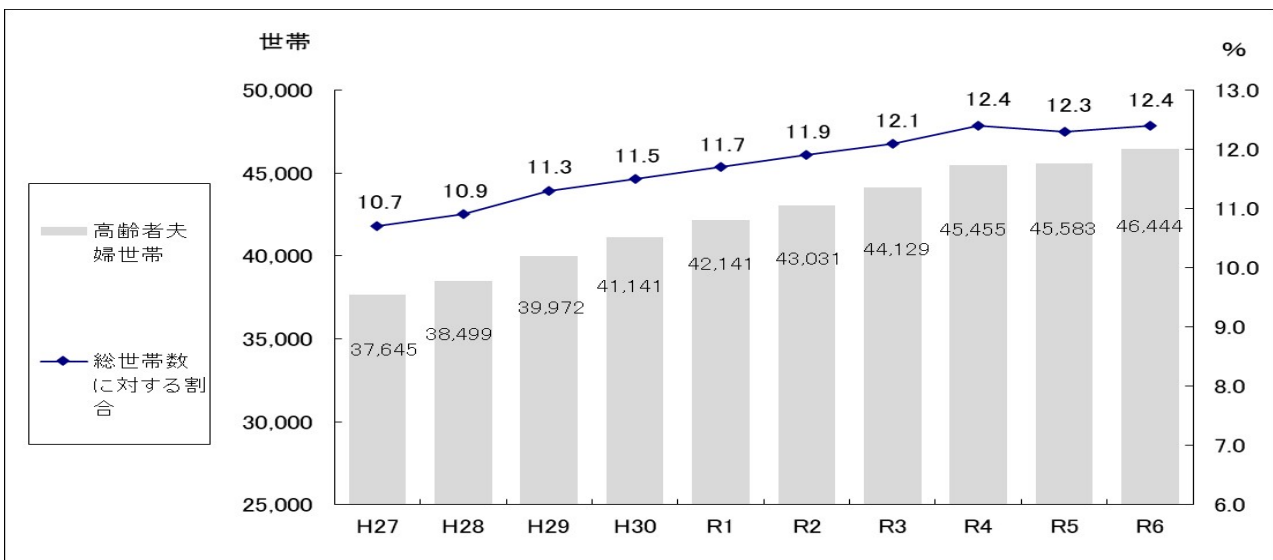


## 2 高齢者世帯の状況

夫婦とも65歳以上の高齢者夫婦世帯は46,444世帯で、県総世帯数の12.4%を占め、前年の45,583世帯と比べ861世帯増加しています。(図3)

また、その他高齢者世帯(※1)は3,075世帯となっています。

図3【高齢者夫婦世帯数の推移】

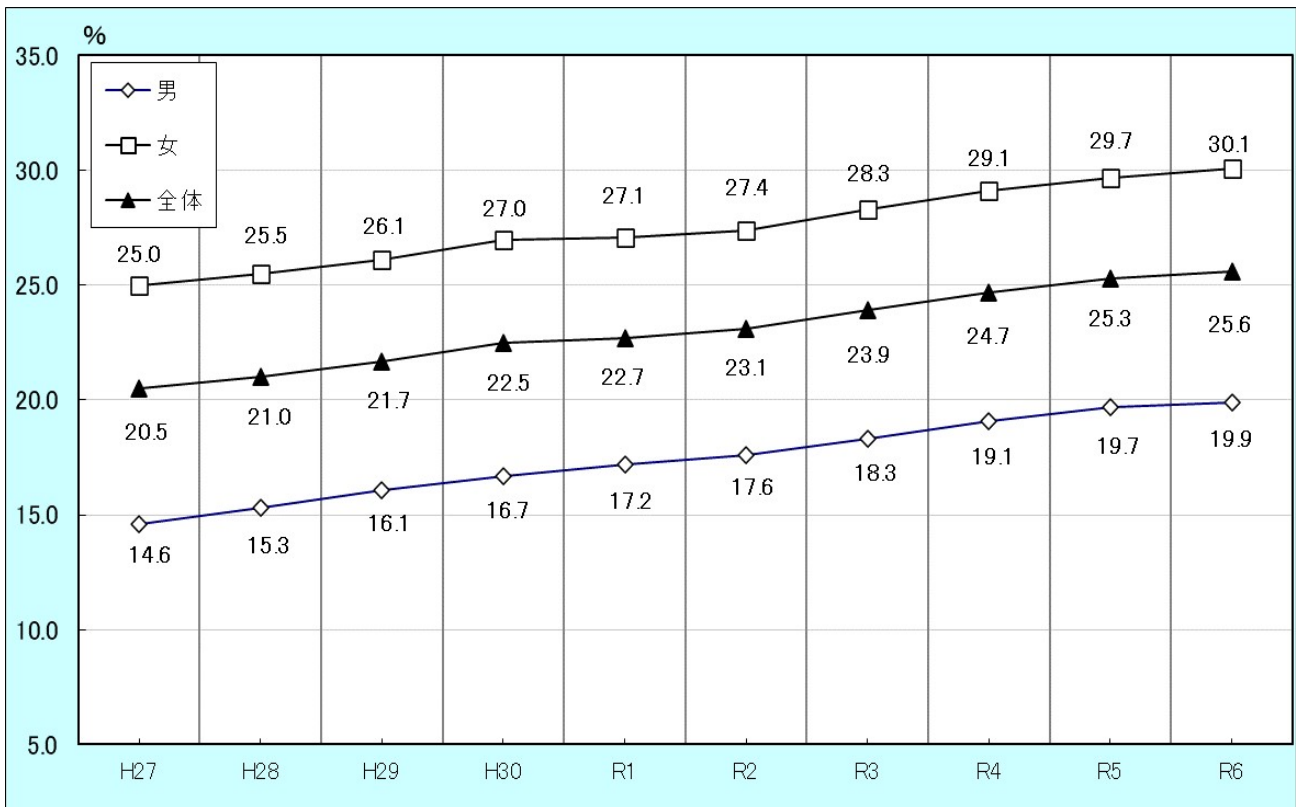




在宅ひとり暮らし高齢者(※2)は65,099人で、高齢者全体の25.6%を占めています。前年の64,083人と比べ1,016人増加しており、在宅ひとり暮らし高齢者は年々増加しています。(図4)

また、後期高齢者(75歳以上)の割合が64.7%となっています。男女別に見ると、男性が34.3%、女性が65.7%と女性の割合が高くなっています。

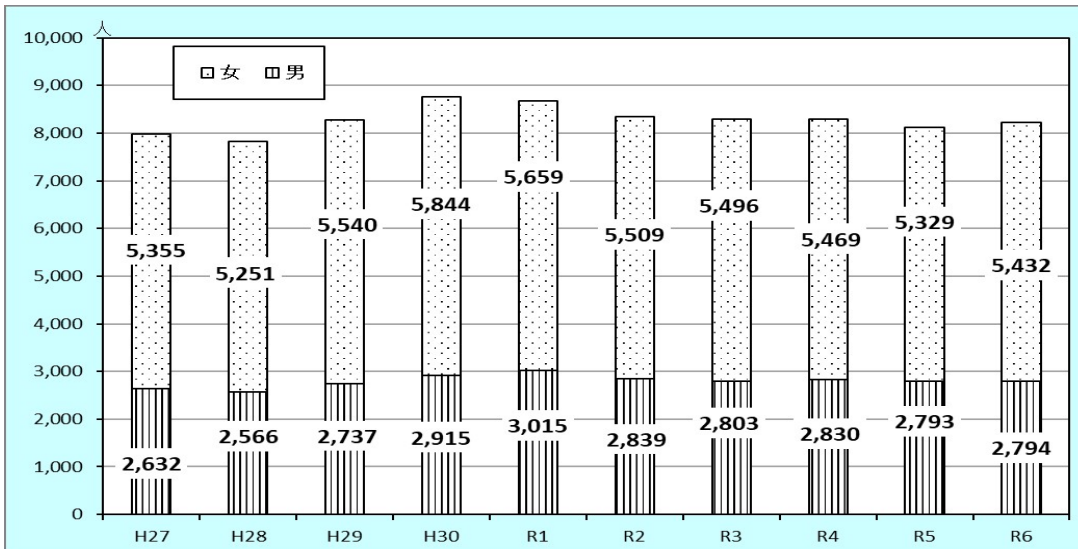
図4【高齢者に対する在宅ひとり暮らし高齢者の割合の推移】



### 3 在宅寝たきり高齢者の状況

在宅寝たきり高齢者(※3)は8,226人であり、前年の8,122人と比べ104人増加しています。このうち女性は5,432人となっており、66.0%を占めています。(図5)

図5【在宅寝たきり高齢者の状況】



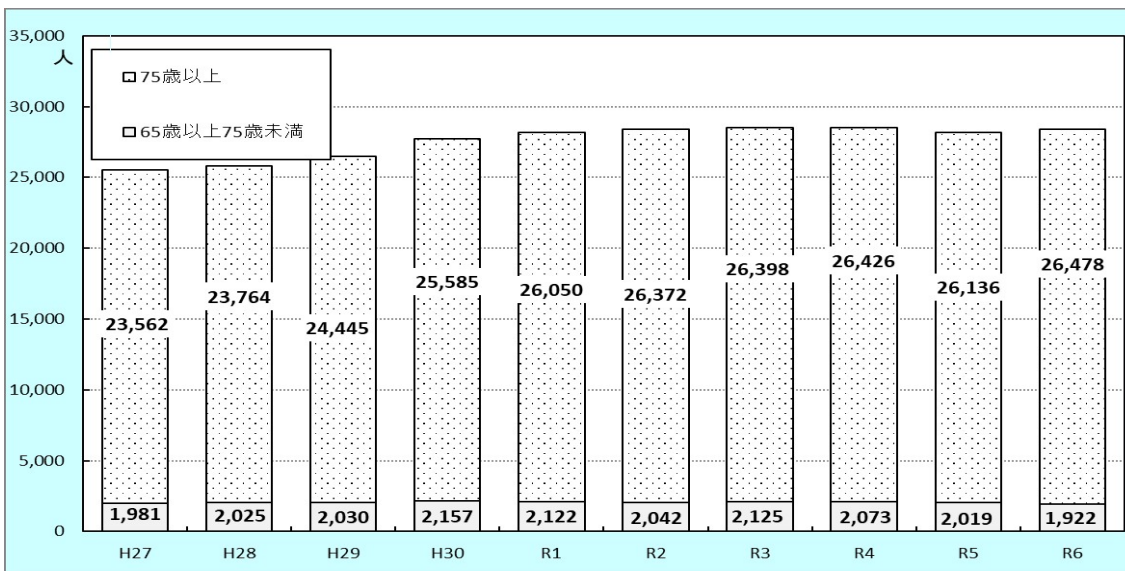
### 4 認知症高齢者の状況

認知症高齢者数(※4)は28,400人で、高齢者全体の11.2%を占めています。前年の28,155人と比べ245人増加しています。

このうち75歳以上が26,478人と認知症高齢者の93.2%を占め(図6)、男女別では、女性が70.6%を占めています。

また、20,903人が在宅、7,497人が施設入所(※5)となっています。

図6【認知症高齢者の状況】



## 5 市町村別高齢化率の状況

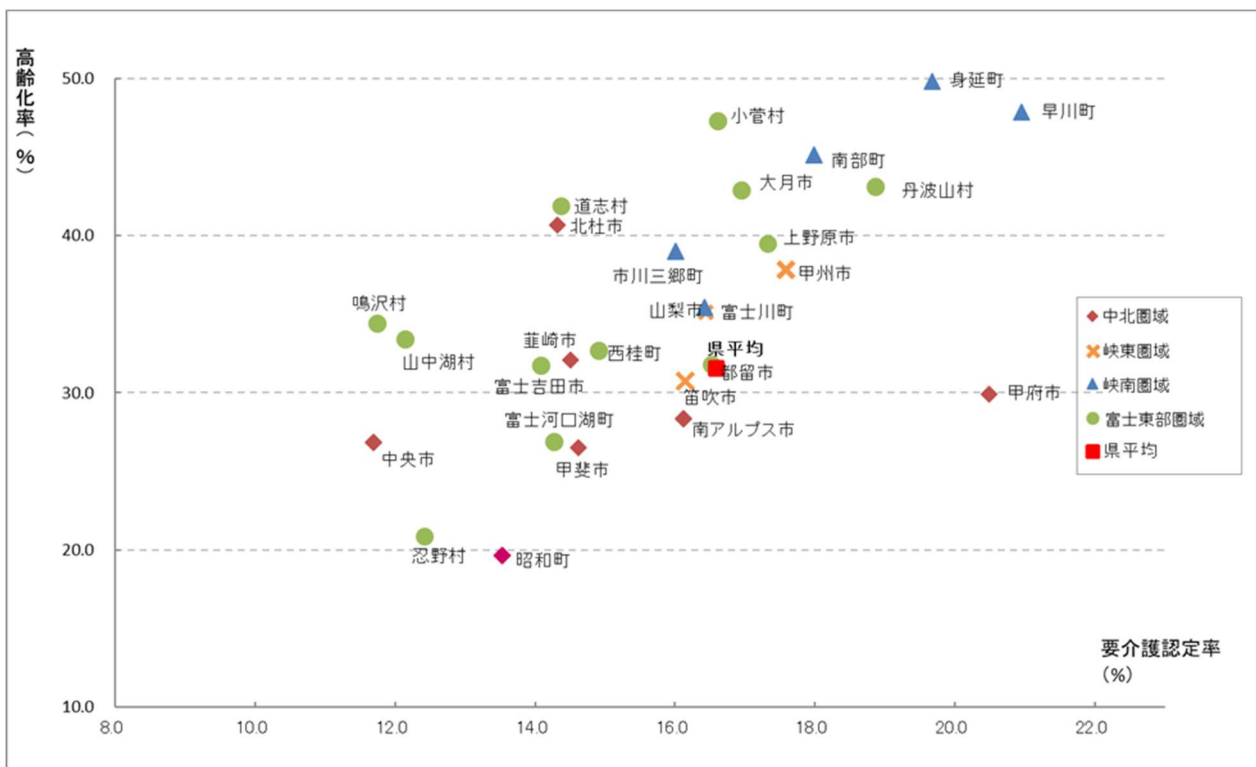
市町村別の高齢化率を見ると、高齢化率が40%を超える市町村が8市町村(身延町、早川町、小菅村、南部町、丹波山村、大月市、道志村、北杜市)、30%以上40%未満の市町村が12市町村(上野原市、市川三郷町、甲州市、富士川町、山梨市、鳴沢村、山中湖村、西桂町、韮崎市、都留市、富士吉田市、笛吹市)となっています。

一方、高齢化率が20%以上25%未満の市町村は忍野村、20%未満の市町村は昭和町となっています。(図7)

区分 市町村・圏域	総人口(人)	高齢者人口(人)	高齢化率(%) (R6.4.1現在)	要介護認定率(%) (R6.3月末現在)
甲府市	183,984	55,034	29.91	20.49
韮崎市	27,986	8,982	32.09	14.51
南アルプス市	71,511	20,232	28.29	16.13
北杜市	45,470	18,502	40.69	14.32
甲斐市	76,318	20,229	26.51	14.62
中央市	30,540	8,193	26.83	11.70
昭和町	21,216	4,150	19.56	13.54
中北圏域計	457,025	135,322	29.61	15.04
山梨市	32,908	11,555	35.11	16.44
笛吹市	67,064	20,672	30.82	16.14
甲州市	29,411	11,103	37.75	17.59
峡東圏域計	129,383	43,330	33.49	16.72
市川三郷町	14,570	5,689	39.05	16.02
早川町	864	414	47.92	20.95
身延町	9,931	4,948	49.82	19.68
南部町	6,851	3,090	45.10	17.99
富士川町	14,083	4,982	35.38	16.42
峡南圏域計	46,299	19,123	41.30	18.21

区分 市町村・圏域	総人口(人)	高齢者人口(人)	高齢化率(%) (R6.4.1現在)	要介護認定率(%) (R6.3月末現在)
富士吉田市	46,472	14,716	31.67	14.08
都留市	28,346	9,019	31.82	16.52
大月市	21,555	9,257	42.95	16.95
上野原市	21,454	8,471	39.48	17.32
道志村	1,551	650	41.91	14.37
西桂町	3,954	1,292	32.68	14.91
忍野村	9,667	2,016	20.85	12.42
山中湖村	5,770	1,929	33.43	12.15
鳴沢村	3,069	1,057	34.44	11.75
富士河口湖町	26,933	7,236	26.87	14.27
小菅村	621	294	47.34	16.61
丹波山村	510	220	43.14	18.86
富士・東部圏域計	169,902	56,157	33.05	15.02
県合計	802,609	253,932	31.64	16.58

図7【市町村別高齢化率、要介護認定率の状況(参考)】



※要介護認定率:要介護認定者数/第1号被保険者数(令和6年3月分介護保険事業状況報告(暫定版)から算出)

## 6 今回の調査結果の特徴

今回の調査では、総人口の減少と高齢者数の増加により、高齢化率は31.6%となり、調査開始以来最高となりました。

## 7 終わりに

この調査は、市町村の皆様の御協力のもとに昭和48年から毎年実施しており、高齢者福祉の基礎的なデータについて、経年変化や他の市町村との比較ができる有意義な調査となっております。

御協力いただきました皆様に感謝申し上げますとともに、調査結果を高齢者福祉施策の基礎資料として御活用いただけると幸いです。

詳しい調査結果については、県ホームページに掲載されていますので、併せてご覧ください。  
(<https://www.pref.yamanashi.jp/chouju/24909311206.html>)

### <注釈>

※1…すべての世帯構成員が65歳以上の高齢者からなる世帯(高齢者夫婦世帯、ひとり暮らし高齢者世帯を除く)

※2…施設入所者を除くひとり暮らし高齢者。なお、ここでいう施設とは、介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護、介護老人保健施設、介護医療院、養護老人ホーム、軽費老人ホーム、有料老人ホーム(介護保険の特定施設入居者生活介護の指定を受けているものに限る)、認知症対応型共同生活介護(グループホーム)を指す

※3…「障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)判定基準」のランクB又はランクCに該当する者をいう

(参考)障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)

ランクB:屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッド上での生活が主体であるが座位を保つ

ランクC:一日中ベッド上で過ごし、排泄、食事、着替において介助を要する

※4…「認知症高齢者の日常生活自立度判定基準」がⅡ以上の者をいう

(参考)認知症高齢者の日常生活自立度Ⅱ

日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる。(たばこ道に迷う、服薬管理ができない、一人で留守番ができないなど)

※5…ここでいう施設は※2と同じ

7月4日(木)

## 令和6年度 高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施に関する研修会

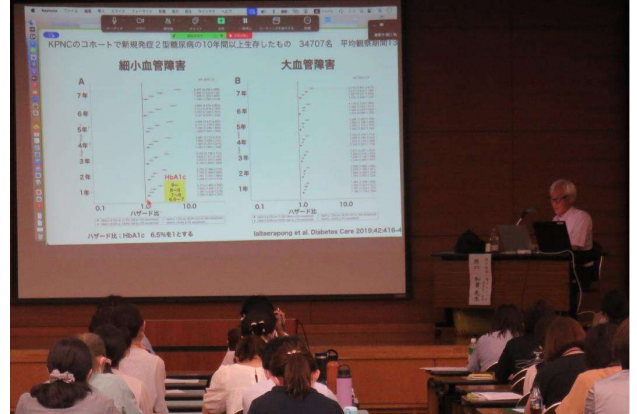
本研修会は県自治会館1階の講堂にて開催され、高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施に携わる市町村担当者や医療専門職、後期高齢者医療広域連合の担当者62名が出席した。

令和2年度から、市町村が後期高齢者医療広域連合から委託を受けて取り組む「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施」の事業が始まり、令和6年度には全ての市町村での実施が見込まれている。本県では、通いの場を活用したフレイル対策（ポピュレーションアプローチ）に比べ、生活習慣病の重症化予防等のハイリスクアプローチの取組が進んでいない状況があるため、令和5年度に引き続き、具体的な実施方法の研修を開催した。

本会の保健事業課有泉亨課長からの主催者挨拶後に、「慢性腎臓病の理解を深める～事例を通して学ぶ～」と題して、原口内科・腎クリニック 原口和貴院長よりご講演いただいた。「糖尿病は血糖だけでなく、コレステロールや血圧など集約的な治療が必要であること、若い人ほど糖尿病からの透析導入率が高く、現役世代の治療中断、放置が腎障害の悪化を招いている」等の説明があった。また、多くの薬剤が開発されて腎症の治療に成果が出ていることなど、事例を通して分かりやすくお話いただいた。

講演の後には、保険者の担当者による事例発表を行った。始めに、「低栄養対策について」と題して、山梨市高齢者・介護支援課中沢里美保健師が、続いて、「甲府市における糖尿病重症化予防事業「3か月血糖チャレンジ」」と題して、甲府市健康政策課横森恵美保健師が発表を行った。

事例発表の後には、糖尿病性腎症重症化予防などのテーマについて6つのグループに分かれ、グループワークが行われた。どのグループも、活発な情報交換が行われていた。



講演の様子



事例発表の様子



グループワークの様子

7月12日(金)

## 令和6年度 第1回 山梨県保険者協議会

県自治会館4階審査室にて、山梨県保険者協議会の第1回会議が開催された。

井上弘之会長(県福祉保健部長)からの挨拶後に、事務局から協議事項の説明が行われ、原案のとおり承認された。

続いて、報告事項とその他の項目について説明が行われた。



### 〔協議事項〕

- (1) 令和5年度山梨県保険者協議会事業報告について
- (2) 令和5年度山梨県保険者協議会歳入歳出決算について
- (3) 令和6年度保険者協議会アンケートの実施について
- (4) 令和6年度山梨県保険者協議会実務研修会について

### 〔報告事項〕

- (1) 特定健診推進月間について

### 〔その他〕

- (1) 保険者における第三者行為損害賠償求償案件の把握について
- (2) 特定健診等に係るオンライン資格確認の導入等に伴う実施機関一覧表の項目追加について

7月18日(木)

## ヴァンフォーレ甲府アカデミーへの普及啓発

VF 八田グラウンドにて、ヴァンフォーレ甲府アカデミー(育成組織)に所属する小中高生に対し、ジェネリック医薬品使用促進に係る普及啓発を行った。また、本会オリジナルキャラクターのジェネスリーのキッチンスポンジを熱中症対策にも活用できるよう贈呈した。



スポンジのイメージ

8月27日(火)・28日(水)  
9月4日(水)

## 糖尿病性腎症重症化予防支援システム操作・活用研修

本研修は、8月27日、28日、9月4日の3日間、計5回に分けて開催され、市町村、山梨県後期高齢者医療広域連合の担当者及び保健師 計54名が出席した。

県では、平成30年度に山梨県糖尿病性腎症重症化予防プログラムを策定し、腎臓機能障害の早期発見、早期治療により、人工透析導入までの期間の延伸、新規人工透析導入患者数の減少を目指し、保険者における糖尿病性腎症重症化予防事業の支援を行っている。

本研修は、県が作成した「糖尿病性腎症重症化予防支援システム」の操作方法や活用方法を学び、保健事業の企画や評価に活用できるよう、本会が県より委託を受け開催した。

研修では、本会の保健事業課有泉亨課長の挨拶の後、同課保健事業係築野将副主査から「「支援システム」(202407改修版)の操作方法の演習」について、続いて同課黒倉さゆり保健師から「「支援システム」から得られる情報の解説及び保健事業への具体的活用方法」について、実際に端末を操作しながら説明を行った。

説明後、質疑・意見交換が行われた。

